

地理歴史・公民科

教科名	地理歴史科	科目名	日本史B
科目の目標	(1) 歴史に対する興味・関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2) 歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	2年	類型	文系・理系共通
単位数	4単位	履修形態	選択
教科書	詳説日本史B(山川出版社)	副教材等	図説日本史通覧(帝国書院) 4ステージ日本史B(数研出版)

①学習の目標

- (1) 人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
- (2) 自国の歴史を正しく理解し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 教科書の内容を中心に、各自のノートに要点整理をしながら、日本の歴史の基本事項を学ぶ。
- (2) 授業中に副教材(図説・史料集)を多く使用する。また自分で資料を活用し考察する課題にも取り組む。
- (3) 各テーマ(問い)ごとにプリントを配布する。また、単元ごとに振り返りシートの提出を求める。

③学習に当たっての留意点

過去の史資料が物語るメッセージをどのように受け取り、未来志向で我々が史実をもとにどう生きていくべきかを考えながら歴史の学びを進めてもらいたい。当然、歴史を学ぶ中には、基礎的な知識を覚える作業も多分に含まれるが、政治・経済・外交・文化の流れや相互の関連を意識し、世界的・地理的見方も踏まえつつ、一辺倒ではない複眼的な歴史観を磨いてもらいたい。

本授業では、正しい歴史認識を持つこととあわせて、大学受験に対応できるよう日本史の学習をし、歴史を中心に社会科学の方法論を学んでいく。

なお、本校における日本史の履修体系は以下の通りである。

(Ⅰ) 本校の教育課程では、2年生か3年生で必ず世界史を選択させ、世界史を選択しない学年では日本史または地理を選択させることになっているが、各科目の授業内容の構成上、受験での使用科目は2年生で選択した科目となる。

(Ⅱ) 本校では、共通テスト、さらに一部の大学の個別試験に対応するために、教科書の内容を土台としながらも深まりのある学びとするため、内容を再編集しながら授業を行う。実際に、2年生の4単位では受験に対応するためには内容的に不十分なため、2年生では近世までの日本史を中心に学習する。

(Ⅲ) 2年生で日本史を選択した生徒は、3年生の世界史の授業時間の中で、日本史の近現代史を各科目の学習と並行して学ぶ。こうして、日本史の受験に対応していく能力を身に付けると同時に、2、3年生を通して社会科学の方法論を学んでいく。

④評価の観点

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 |
| (2) 思考・判断・表現
【思】 | 我が国の歴史の展開から課題をみだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 |
| (3) 資料活用の技能
【資】 | 我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 |
| (4) 知識・理解
【知】 | 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 |

⑤評価の方法

定期考査・小テストの成績、提出物、日常の学習活動への参加意欲とあわせて総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	第1章 日本文化のあけぼの	1 文化のはじまり	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の人々の生活の変化、国家の成立と推移及び文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。振り返りシートと授業への参加意欲から評価する。【関】 ・諸資料を活用し、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。振り返りシートや定期考査、日常の発表活動で評価する。【資】 ・課題を見いだし、東アジア世界の動きとも関連付けて多角的に考察できるか。また、日本列島形成から律令国家の成立・展開、藤原氏全盛時代までの展開を理解し、知識を身につけているか。振り返りシートや定期考査で評価する。【思】【知】
5	第2章 律令国家の形成	2 農耕社会の成立	
5		3 古墳とヤマト政権	
6	第3章 貴族政治と国風文化	1 飛鳥の朝廷	
6		2 律令国家の成立	
7	第3章 貴族政治と国風文化	3 平城京の時代	前期中間考査
8		4 天平文化	
9	第4章 中世社会の成立	5 平安王朝の形成	前期末考査 <ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の成立から戦国大名の時代にいたる武家社会の進展と文化の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。振り返りシートと授業への参加意欲から評価する。【関】 ・諸資料を活用し、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。振り返りシートや定期考査、日常の発表活動で評価する。【資】 ・課題を見いだし、東アジア世界の動きとも関連付けて多角的に考察できるか。また、院政から武家政権の誕生・展開・衰退までを民衆の成長と連動させて理解し、知識を身につけているか。振り返りシートや定期考査で評価する。【思】【知】
10		1 院政と平氏の台頭	
11	第5章 武家社会の成長	2 鎌倉幕府の成立	
11		3 武士の社会	
12	第5章 武家社会の成長	4 蒙古襲来と幕府の衰退	
12		5 鎌倉文化	
1	第6章 幕藩体制の確立	1 室町幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権、幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。振り返りシートと授業への参加意欲から評価する。【関】 ・諸資料を活用し、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。振り返りシートや定期考査、日常の発表活動で評価する。【資】 ・課題を見いだし、国際関係の変化とその影響を関連付けて多角的に考察できるか。また、信長・秀吉・家康を中心とした天下統一事業の背景・経過・結果を理解するとともに、江戸幕府の推移と、政治・社会・民衆の生活の変化を理解し、知識を身につけているか。振り返りシートや定期考査で評価する。【思】【知】
2		2 幕府の衰退と庶民の台頭	
2	第7章 幕藩体制の展開	3 室町文化	
2		4 戦国大名の登場	
3	第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の安定	
3		2 経済の発展	
3	第8章 幕藩体制の動揺	3 元禄文化	
3		1 幕政の改革	
3	第8章 幕藩体制の動揺	2 宝暦・天明期の文化	
3		3 幕府の衰退と近代への道	
3	第8章 幕藩体制の動揺	4 化政文化	
3		4 化政文化	